

目標達成計画

作成日: 平成 25年 5月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	目が届かないところでの転倒・転落などの事故が発生する可能性がある。	転倒・転落事故を起こさないようにする。 筋力の維持に努められるようなレクリエーションの実施。	利用者の動きを把握し、瞬時に対応できるようにする。 利用者一人ひとりのレベルに合わせたプログラムを考え、楽しみを持ちながら、手足を動かすことで機能回復・維持を図れるように取り組む。	12ヶ月
2	23	一人ひとりの思いや意向の把握が難しい。	一人ひとりのニーズをきちんと把握し、穏やかな生活を送っていただく。	日々の関わりの中で言葉や表情・態度などから本人の真意を察するように努め、思いや意向に添った介護をして行く。	12ヶ月
3	21	利用者同士の関係への支援が対応不十分である。	利用者間のトラブルを無くし、個人個人が孤立しないようにして行く。	利用者間のトラブルが些細なことで発生するので、職員が常に見守りをし、トラブルが発生しないように目配り・気配り・心配りをしていく。	12ヶ月
4	49	外出支援に偏りがある。	定期的に外出できる機会を設け、地域の方々との交流を図り、アンチエイジングに努める。	季節を肌で感じてもらえるよう、季節の旬な物を見てもらえるよう、また、施設外の方々とのふれあいができるよう、歴史や文化にふれあうことができるようにしていく。 出かけたくないと言われる方にも、外出することが楽しいと感じてもらえるような場所やイベントを考えて、できるだけ偏りなく外出してもらえるよう支援していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。